

人生わくわく船 寺子屋

船長：朝日山一男

事務所：二宮町二宮1169-43

0463-70-5138



人生わくわく船



寺子屋

スポーツ



人生わくわく船とは

子供から高齢者まで、障害の有無に関わらず、災害に備えて平時より顔の見える関係づくりを行っております。

また、地域住民の方々の健康維持増進と未病対策が必要と考え、「寺子屋」を開催しております。

セルフケア指導を行い、自らが体力づくりや健康管理が出来ることを目的とします。



「寺子屋部門」開催内容

- ①健康講和（東洋医学や予防医学）
- ②二宮永遠に（体操）
- ③ゼンシン体操
- ④各種イベント
（クリスマス会・フラワーアレンジメント・体力測定・折り紙など）
- ⑤コグニサイズ
- ⑥ボッチャ体験
- ⑦災害研修
- ⑧町民公開講座等

①健康講和（東洋医学）



健康維持・増進・予防に役立つお話をします！
季節に合わせて！ ツボ講座等

②二宮永遠に（体操） ③ゼンシン体操



「二宮、永遠に」に合わせて体操！ゼンシン体操！
どちらも・・・船長が監修しています♪



④ 各種イベント

クリスマス会・フラワーアレンジメント・折り紙
体力測定など

クリスマス会



⑤ コグニサイズ ⑥ ボッチャ体験



**老若男女問わず！障害有無問わず！
みんな仲良く！みんな楽しく！みんな真剣だ！**

二宮町 町民公開講座



二宮町 町民公開講座 災害研修会
二宮町町民活動推進事業

いざ！そのとき！
～二宮はどうする～

日 時：2022年1月9日(日) 14時～16時30分
会 場：二宮町生涯学習センター ラティアン・ホール
講 師：浅野直也氏 (DMAT 厚生労働省災害派遣医療チーム)
西山哲也氏 (二宮町政策総務部防災安全課長)
伊達良雄氏 (二宮町災害ボランティアネットワーク会長)
朝日山一男 (公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会理事)
榎本 恭子 (公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会スポーツ災害対策委員会委員)

参加費：300円 (資料・コロナ対策・行事保険等)
募集人数：300名 (事前申込制・応募多数抽選)
参加期限：2022年1月5日(水)までにお申し込みください
申込方法：氏名・住所・連絡先を下記の方法でお伝えください (コロナ対策・行事保険に使用)
郵便 〒259-0123 二宮町二宮1169-43 朝日山一男宛
FAX 0463(37)3088/0463(70)5138 メール kamesuke89@yahoo.co.jp
問合せ先 人生わくわく船 船長 朝日山一男 080-6662-3229

主催：人生わくわく船
後援：二宮町・二宮町社会福祉協議会
協賛：ラーブルマーケティング株式会社

お土産
あるよ♡

二宮町 町民公開講座
二宮町 町民活動推進事業

日 時：令和4年7月23日(土) 13時～16時
場 所：生涯学習センター ラティアン・ホール
<第一部 講演会>
講師：帝京大学 駅伝競走部 中野孝行監督
講演テーマ：
『箱根駅伝から見える人生の景色』
引用：帝京大学 HP
<第二部 演奏会>
二宮ジョイフルハーモニカ/琴修会「いなほの会」

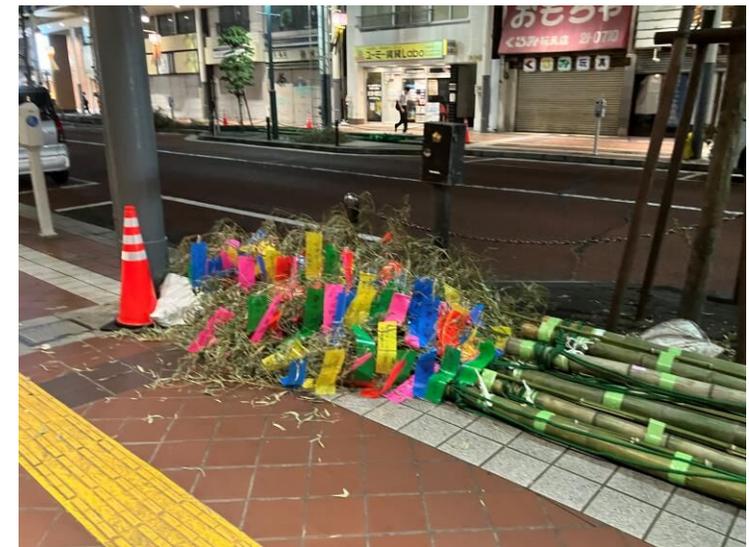
いきいきフェスティバルin二宮

参加費 400円 (資料・コロナ対策・行事保険等)
申込・問合せ方法：電話・FAX・メール
申込必要事項：氏名・住所・連絡先
申込先：朝日山一男 電話&FAX
0463-70-5138
榎本 恭子 電話&FAX
0463-37-3088
メール：kamesuke89@yahoo.co.jp

申込期限：令和4年7月16日(土)
事前申込制：350名(多数の場合抽選)

主催：人生わくわく船
後援：二宮町・二宮町社会福祉協議会
二宮町陸上競技協会

平塚七夕まつり



七夕まつり



「スポーツ部門」パラスポーツ体験



二宮町福祉祭り

「ボッチャ体験」「聖火トーチ展示」「あてくじ」



二宮町 ボッチャ大会

2024/6/16(日)
二宮町立体育館

11:30~12:30 スポーツ体験会
第1部 13:00~ ボッチャ研修会
第2部 13:30~ ボッチャ大会



主催 人生わくわく船

共催: 神奈川県障がい者スポーツ協会
後援: 二宮町・二宮町社会福祉協議会

163名参加



中学校でのボッチャ体験



災害研修・災害支援

新潟中越地震から能登半島災害支援 70 回以上の経験を活かし

- ①寺子屋での災害研修
- ②二宮町町民公開講座を主催
- ③二宮町防災課と協力し防災訓練・防災担当者への講演

DMAI本部



県庁会議室で支援者支援



珠洲市役所での支援者支援



真心靴下大作戦！心も身体も温めよう！！

新品の靴下や真心をお届けします
被災地で寒い冬を迎える支援活動です。
現地で活躍中の鍼灸マッサージ師の先生からの
お声がけにより始めました。
一人でも多くの方のご支援賜りますよう
お願い申し上げます！

真心

プレゼント！！
第1回 10月末頃
第2回 11月末頃
第3回 12月25日 🎅

友達の輪



主催：人生わくわく船 問い合わせ：船長 朝日山一男 副船長 榎本恭子
メール・DM・携帯電話で直接問い合わせください。

結果

支援先21か所

輪島市 珠洲市 七尾市 鳳珠郡 奥能登の避難所
仮設住宅 保育園 資料館等

支援靴下数「4 6 3 7 足」(支援金充当分含む)

支援金 354,250円

タウンニュース・神奈川新聞に掲載される

第3種郵便物認可 神奈川新聞

二宮の団体、靴下支援

能登にぬくもり4600足

二宮町を拠点に活動するボランティア団体「人生わくわく船」が、発生から1年となった能登半島地震の被災者へ向けて新品の靴下約4600足を順次送っている。東洋医学の観点に基づく「頭寒足熱」の考え方や、ワンコインで無理なく支援できるという趣旨から靴下の支援に行き着いたという。同団体の「船長」で、鍼灸マッサーの朝日山一男さん(76)「同町」は「被災地の支援をしながら、二宮にも防災や減災の考え方が広まってほしい」と話している。

同団体は40、80代の男女約20人組織。健康に関する講座やボッチャ大会などを定期的に実施するなど地域住民の健康増進のために活動している。

朝日山さんや、その弟子で同団体副船長の鍼灸師榎本恭子さん(55)「平塚市」は「長年、全国各地の被災地で鍼灸治療などを行う支援活動を続けてきた。能登半島地震の被災地にも入り、被災者のみならず自衛隊員や消防職員、自治体職員ら支援者への支援にも取り組んできた。榎本さんは「職員も夜中まで働きつめて本当に過酷な状況だった」と振り返る。

靴下の支援は昨年10月下旬、石川県内で被災地支援を続ける鍼灸師からの「厳しい冬が来る前に防寒着が欲しい」との要請がきっかけ。すぐさま効果的な支援として靴下を送ることを思い出し、同団体のメンバーで213足を急ぎよかき集め、翌日には被災地の仮設住宅へと送り出した。

根強いニーズがあることが

「苦しみ減らしたい」

靴下の仕上げ作業を行う朝日山さん(左端)や榎本さん(右端)ら

2024年12月、二宮町二宮

度区切りを迎え、今年3月には町内への支援チャリティイベントを企画する予定

榎本さんは、2019年10月に川崎市内に被害をもたらした台風19号で被災した経験を持つ。自身が営んでいた鍼灸院は閉鎖せざるを得ず、平塚へと転居した。被災地で物資を待つ人の気持ちは痛いほど分かるという。

だからこそ榎本さんには忘れられない言葉がある。被災者からかけられた「あなた方にどこまで(苦しみが)分かるのか」「能登を忘れないでほしい」といった言葉だ。かつて一度は自分たちが味わった苦しみや悲しみ、惨めさ。いまもそうだった感情に陥る人を一人でも減らせるよう、支援を続けていくつもりだ。



災害支援第二弾 チャリティーコンサート



響けマンドリン！
届け真心！輝く未来へ！

能登災害支援 チャリティーコンサート

御茶ノ水マンドリン倶楽部
(明治大学マンドリン倶楽部OB有志)

演目 ・川の流れるように ・"仁"愛のテーマ
・丘を越えて 他古賀政男メロディー

3月22日(土)開演 | 14:00 (開場 | 13:00)

二宮町生涯学習センター ラディアンホール

【チケットはこちらから】

料金 前売り券：2,000円 当日券：2,500円

チケット代金のうち¥300を支援金とさせていただきます

主催：人生わくわく船 (問い合わせ0463-70-5138 朝日山)

協賛：DSAM災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会 後援：二宮町、二宮町社会福祉協議会



ご清聴ありがとうございました